

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	入所者+職員用の緊急避難袋が準備していない。準備は可能であるが、ホーム内の設置する場所がない。	ホームでの入居者+職員の緊急避難袋の準備。3日分の食料、水分、衛生用品の確保。備蓄場所の確保。	①人数分の避難袋を用意する。②点検口が4カ所あり、そこに備蓄を行う。③年2回の防災訓練・定期のミーティング等で周知徹底を行う。	3ヶ月
2	39	ホームでの待機は基本行わない。理由は、ホーム建物は平屋で海拔が1mと低く、海も近いため、地震時の津波が起きた場合は、ホームでの待機は絶対に不可能である。	地震時は津波がくることを前提とし、高台や高い場所への避難場所を確定し、職員全員が共有する。	①市役所・地域の小学校・中学校への避難 ②山側・隣町の老健への避難 ③年2回の防災訓練・定期のミーティング等で周知徹底を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。